

第14回学生生活調査結果に基づく全学支援・改善事項

全学的事項

調査項目	支援・改善事項	支援・改善策(方法)の例示	H31・2末日現対応状況
生活状況について	・学生の経済支援強化 (奨学金・授業料免除の充実化)	・学業優秀者に対する授業料免除の充実 ・新たな奨学金制度の創設など	・給付奨学生及び住民税非課税世帯学生に対する授業料全額免除を平成30年度入学生から導入した。 ・学業優秀な卓越した学生に対する授業料免除について、平成31年度から導入すべく、規程等の整備や推薦依頼を対象研究科へ依頼した。 ・「長崎大学地方創生活動支援金要項」を制定し、卒業後に長崎県内の企業等への就職を希望する学生に対する支援金の支給を始めた。
健康について	・キャンパス内の分煙の徹底化 (特に、事実上分煙になっていない喫煙所の改善要求)	・喫煙マナー等の教育啓発活動の促進 ・喫煙所の改善など	長崎大学の学生及び教職員の受動喫煙防止対策として、敷地内禁煙を実践するために、長崎大学禁煙実践基本方針（平成30年11月6日学長裁定）が制定され、2018年12月未までに喫煙所を減らし、2019年8月までに敷地内全面禁煙となることが決定し、教職員・学生へ周知した。
キャンパスについて	・交通安全強化（特に、文教キャンパス環境科学部周辺（歩行者と車の接触危惧）、押しチャリゾーンでの自転車の走行（本来は自転車を下りて、押し歩く）） ・インターネット環境の整備（通信速度の向上？） ・図書館の機能改善（開館時間の拡大、蔵書数up等）	【交通安全強化】 ・交通マナー等を学生への周知する 【インターネット環境の整備】 ・情報担当部署へ、学生からの要望を報告し、Wifi環境等の改善を依頼する。 【図書館の機能改善】 ・図書館へ開館時間の拡大や、蔵書の充実等についての学生からの要望を伝えた。	【交通安全強化】 ・自転車運転マナーについての学生周知用の掲示を行った。 ・東門（通用口）での自転車走行について、危険との指摘があったため、押しでの通行の掲示を行い及び防柵を設けた。 ・自転車登録時に、自転車運転のマナーに関するチラシを配布した。 【インターネット環境の整備】 ・インターネット環境設備について、担当部署へ報告し、2019年度10月以降に改善工事を行うことになった。 【図書館の機能改善】 ・開館時間については、2019年度より試験期の開館時間を拡大し、中央図書館では平日朝8時の開館日、医学分館では土日9時開館・21時閉館日を設定した。 ・学生の要望に対応するため、図書の学生リクエスト制度や市内書店での選書ツアー（2018年度はメトロ書店と大学生協で開催）を行っている。 ・2018年4月に、中央図書館に自動販売機を設置した。 ・2018年8月に、経済学部分館に飲食可能エリアを設定した。
学生相談体制について	・学生相談体制の認知度の向上	学生相談・支援体制の周知徹底	・学生何でも相談室に相談しやすいように、各学部のトイレなどに周知の掲示を行い、QRコードを設け、メール等で相談しやすい体制を作った。 ・学生何でも相談室の相談カードを作成し、在学生への配布を依頼した。

第14回学生生活調査結果に基づく支援・改善事項（各部署分）

部署	調査項目	支援・改善事項	支援・改善策(方法)の例示	H31.2末日現在対応状況
【学部】				
多文化	キャンパス全般について	総合教育研究棟のセキュリティの強化	・多文化社会学部の教室が配置されている階の女子トイレに防犯ブザーを設置している。 ・工学部が中心となり、総合教育研究棟1階に防犯カメラを設置している。	左記のとおり対応済み。
		放置自転車の整理	学生に対し、掲示で注意喚起を行う。	指定エリアでの駐輪および自転車放置の禁止に関する掲示を行っている。
	大学生活全般について (授業)	学生からの意見収集及び改善可能な事項の対応	年に2回開催する学生代表との懇談会で学生と意見交換を行っている。	6月に「学生代表との懇談会」を実施した。後期は、懇談事項に参加学生が集まらなかったため懇談会は開催しなかったが、懇談事項募集の際に学生から寄せられた意見等に対しては、関係委員会で回答を作成し、学生へ公開している。
教育学部 (教育学研究科も同じ)	キャンパス全般について	防犯設備の強化	音楽棟にセキュリティカードを設置する。	設置について検討したが、現在の予算面で設置は難しい状況にある。
	キャンパス全般について	交通安全強化	放送大学と教育学部新館との道路にミラーを設置する。	設置について検討したが、現在の予算面で設置は難しい状況にある。
	キャンパス全般について	施設・設備の改善	教育学部建物内の破損箇所を調査し、補修する。	建物内の破損箇所（ドア、洗面所等）を調査し、修理した。 また、大半の講義室のスイッチャーをデジタル化（HDMI）する予定である。
経済学部	キャンパス全般	分煙環境の整備	扶揺会館前の喫煙所の移設等について検討する。	大学のスモークフリーキャンパス構想に即して、キャンパス内の禁煙化を順次進めている（最初に扶揺会館前の喫煙所を廃止した）。
	学生相談体制	学生相談体制の周知	学内掲示に加え、ガイダンス、新入生合宿研修等の機会を利用し、ハラスメント相談員、何でも学生相談員、障がい学生支援連絡員、カウンセラーについて更なる周知を図る。	平成30年度同様、平成31年度の新入生合宿研修やオリエンテーションの際に、ハラスメント相談員、何でも学生相談員、カウンセラー等による学生支援について、周知を図る予定である。
	キャンパス全般	キャンパス内の交通安全の徹底	危険箇所を示した片淵キャンパス交通安全マップを作成するとともに、ガイダンスや交通安全講習時等にキャンパス内での事故多発箇所（経済正門前）を説明する。	片淵キャンパスにおける交通危険箇所の写真と危険箇所における注意事項を記載した「片淵キャンパス交通安全マップ」を作成中である。同文書は、平成31年度の新入生合宿研修やオリエンテーション、交通安全講習等の機会に学生に配布する予定である。事故多発箇所の経済正門前は減速を促すハンプの設置、路面に「止まれ」を大きくベンキ表示等の工事をし、安全対策を講じた。
医学部 医学科	キャンパス全般について	学生用駐輪場の整理	指定駐輪場外に駐輪、放置しないよう周知徹底する。	掲示およびメールにより周知を行った。放置自転車について廃棄勧告の札を貼付し、札が残っている自転車については年度末に廃棄する予定としている。
	キャンパス全般について	長崎大病院内LAN申請手順の整備	臨床実習生用の利用申請手順を明確化し、周知する。	申請方法を整理し、臨床実習開始前に手順を周知した。申請方法に対する問合せも特になく、問題なく運用できている。
	キャンパス全般について	体育館および部室の清掃	体育館利用団体を対象に、清掃活動実施を呼びかける。	5月15日に医学系全サークル代表者を集め、体育館の利用を含む指導を行った。6月4日に全体育館利用サークルを招集し、清掃活動を実施した。
	健康について	授業以外でも教員と関わるよう、年に1回実施している懇親会の参加率向上を図る。	教育後援会から受領している補助費用の増額を申請することで、参加者の金銭的な負担を軽減する。	今年度の実施から増額申請が了承された。3月1日時点の実施率は68.8%（55/80班）となり、昨年度同時期の実施率62.5%（50/80班）と比較し実施率は向上している。
医学部 保健学科 (医歯薬研究科保健学専攻も同じ)	健康について	一気飲み、泥酔の予防 キャンパス内禁煙	各学年の新年度オリエンテーション、ポートフォリオなどで学生の健康状態、生活一般の状況を把握、課外活動の顧問への周知・徹底 キャンパス内の見回り強化、学生からの情報収集	各学年の新年度オリエンテーション、ポートフォリオなどで学生の健康状態、生活一般の状況を把握、課外活動の顧問への周知・徹底を行った。 キャンパス内の見回り強化したが、学生からの通報は無い。
	キャンパス全般について	・体育館の雨漏り ・立地・坂・古い（トイレが）汚い	・H30年5月の体育館外壁工事の際に、応急処置を業者に依頼した。再度、学術・管理課を通じて施設担当者に根本的修繕を依頼中 ・歯学部C棟への移転準備を進行中	・H30年9月に学術・管理課を通して体育館屋上防水修繕を依頼し、修繕を行った。 ・歯学部C棟への移転準備を進行中。
	学生相談体制について	健康上の諸問題に対する対処の充実 ハラスメント相談体制の周知	現状のアドバイザー、何でも相談、カウンセラーの対応に加え、保健学科学生委員会と学生支援協議会（H29設置）をともに毎月開催する。更に、拡大学生支援協議会を年2回開催して学生の健康維持と諸問題の早期発見と迅速な対応を徹底させる。 オリエンテーションでの説明とキャンパス内の掲示	現状のアドバイザー、何でも相談、カウンセラーの対応に加え、保健学科学生委員会と学生支援協議会（H29設置）を開催した。更に、拡大学生支援協議会を年2回開催して学生の健康維持と諸問題の早期発見と迅速な対応を徹底した。 オリエンテーションでの説明とキャンパス内の掲示を行った。

部署	調査項目	支援・改善事項	支援・改善策(方法)の例示	H31.2末日現在対応状況
歯学部	健康について	歯学部祭におけるアルコール飲料提供の廃止	学生委員長による歯学部祭実行委員会への指導	平成30年度開催の歯学部祭からアルコール飲料提供を廃止した。
	修学について	修学支援強化	CBT不合格者に対する、学生委員長及び6年生有志による学習指導	CBT再試験者に対して、再試験までの期間に自由に利用可能な自習室を提供し、さらに6年生有志による学習指導のサポートを提供した。
	学生相談体制について	学生相談専用の部屋の整備	改修工事にて学生相談室（仮称）を新たに整備	現在、改修工事中であり2019年6月までに完成予定
薬学部	学生相談体制	各種相談窓口の更なる周知 学生懇談会、学生支援等協議会の開催	学生相談室等の利用について掲示し、学生に周知する。 引き続き、学生懇談会を年1回、学生支援等協議会を年2回、開催する。	学生相談室等の利用について掲示し、学生に周知した。 学生懇談会を8月に開催し、学生からの要望について、実施できるものについては対応を行った。学生支援等協議会を6月、11月に開催し、薬学部教員・カウンセラー・学務担当で成績不良の学生等について情報共有を行った。
	屋外の環境について	静謐な環境の保持、グラウンドの予約方法	学生支援課にサークルの活動について、要望する。	静謐な環境の保持、グラウンドの予約方法について、学生支援課に要望した。 全学サークルのあり方についての検討を今年から行っているとの回答であった。
	喫煙所	喫煙所のタバコの煙が周辺に充満	周辺の教室、廊下にタバコの煙が充満しないように、窓や扉の開放しない旨を周知する。 喫煙所の対策を学部内で検討する。	全学的な取り組みとして、2019年8月1日から文教キャンパス敷地内全面禁煙に向け、文教キャンパス内の喫煙所が徐々に廃止され、薬学部喫煙所については、2019年1月1日より使用できなくなっている。
工学部（工学研究科も同じ）	健康について	キャンパス内の分煙の徹底化	分煙が徹底されていないため、喫煙場所の見直しを検討する。	喫煙所の見直しを検討した結果、総研棟の喫煙所を11月に廃止し、喫煙マナーについて、学生に周知徹底した。
	キャンパスについて	交通安全強化（押しチャリゾーンの周知徹底）	工学部敷地内の押しチャリゾーンについて、周知徹底する。（掲示や学年オリエンテーション等）	各コースの掲示板や駐輪場に掲示し、学生に周知している。
	学生相談体制について	学生相談体制の認知度の向上	各コースの掲示板に掲示し、更なる周知を行う。	各コースの掲示板やオリエンテーションにおいて、相談体制について案内し、学生に周知している。
環境科学部	Q37現在の健康状態について 「やや不健康」「不健康」の回答割合が、全学と比べてやや高い。	心身の健康保持の重要性および相談窓口の周知強化	各学年の開始時の4月に実施している教務関係のオリエンテーション時に、学生委員とカウンセラーの双方が、学生に向けて心身の健康保持の重要性や不具合時の対応手段等について周知を行う。実施は平成31年度4月（次年度新学期）になる予定。	各学年の開始時の4月に実施している教務関係のオリエンテーション時に、学生委員とカウンセラーの双方が、学生に向けて心身の健康保持の重要性や不具合時の対応手段等について周知を行う。実施は平成31年度4月（次年度新学期）になる予定。
	Q76: 専門教育満足度 2年生の満足度が低い。	各コースの専門教育内容の更なる周知強化	H29年度より、1年次後期のコース選択説明会の際、両コース教務委員によるコースの説明に加えて、両コース研究室の紹介ファイルを学生がダウンロードできるようにした。このことから、今年度以降の2年次生の調査結果を待ちたい。 加えて、30年度説明会では、例示の、両コース主要科目の概要についても説明あるいは情報入手が可能となるよう検討したい。	コース選択説明会では、教務委員が作成したスライド資料を使用したり、入学時に配布している履修に係る便覧を学生に持参させるなどし、より明確に概要を説明した。また、各コース選択の申込用紙には、HP記載の研究室紹介のページにリンクできるQRコードを付すなど、より細やかな情報提供に努めた。
	Q95 大学生生活全般について（施設）（自由記述） トイレや講義室の掃除が徹底されておらず、汚い。	不具合箇所の把握および対応	「トイレの音姫が作動しない」については、本調査結果開示以前にも把握しており、電池交換等の措置を行うことで対応済である。今後も定期的に、動作確認および対応を行う予定である。 トイレや講義室の汚染状況については、本アンケート調査からは不具合箇所を具体的に特定できるものではなかった。そのため今後、学部として具体的な状況把握をまず実施し、必要であれば対策（清掃会社への指示・伝達）を講じる。	「トイレの音姫が作動しない」については、電池交換等の措置を行うことで対応済である。今後も定期的に、動作確認および対応を行う予定である。（H30年8月対応済） トイレの汚染状況については、今後必要であれば対策（清掃会社への指示・伝達）を講じる予定。
水産学部	健康について 大学生生活全般について	就職支援、キャリア教育の充実	学部1、2年生向けの就職ガイダンス、キャリアセミナーの開催を目指す。	H31年1月8日に2年生向け就職ガイダンスを開催した。約60名の参加者があり、好評であった。
	キャンパス全般について	トイレ満足度の改善	清掃状況を確認して、会計班を通して清掃業者に改善を依頼する。	清掃業者に改善を求めたところ、速やかに対応してもらった。
	健康について	学部喫煙所での分煙の徹底	学部喫煙場所のあり方について再検討する。	全学的な取り組みに従っている。

部署	調査項目	支援・改善事項	支援・改善策(方法)の例示	H31.2末日現在対応状況
[研究科]				
経済学研究科	附属図書館に関する項目 (Q43, Q57)	・バリアフリー化。 ・土日の開館時間が短い。(開館時間の延長)	・経済学研究科から附属図書館へ要望があった旨、申し入れを行う。	平成30年8月2日付けで附属図書館長へバリアフリー化について申し入れた。
	キャンパス内の禁煙・分煙対策 (Q36)	・分煙環境の整備	・扶国会館前の喫煙所の移設等について検討する。	大学のスモークフリーキャンパス構想に即して、キャンパス内の禁煙化を順次進めている(最初に扶国会館前の喫煙所を廃止した)。
	キャンパス内の安全対策に関する項目 (Q44-2)	・キャンパス内の交通安全の徹底	・注意喚起の掲示が不足している箇所への追加掲示(バイクの乗り入れ不可等)	片瀬キャンパスにおける交通危険箇所の写真と危険箇所における注意事項を記載した「片瀬キャンパス交通安全マップ」を作成中である。同文書は、平成31年度の新入生合宿研修やオリエンテーション、交通安全講習等の機会に学生に配布する予定である。事故多発箇所の経済正門前は減速を促すハンプの設置、路面に「止まれ」を大きくペイント表示等の工事をし、安全対策を講じた。
水産・環境科学総合研究科 (博士前期課程)	Q43バリアフリー 「建物の接続部分」「ドアの開閉」「水産学部トイレ」への改善要望	不具合箇所の把握および改善に向けた対応	学生生活調査の集計区分は、「水環研究科」でひと纏めとなっており、「建物の接続部分」や「ドアの開閉」といった指摘が、具体的にどちらの学部建物のごことを把握できていない。今後、他のアンケート等も活用し、まずは更なる現状理解に努め、そのうえで対応について検討したい。	学生生活調査の集計区分は、「水環研究科」でひと纏めとなっており、具体的にどちらの学部建物のごことを把握できていない。今後、現状理解に努め、そのうえで対応について検討したい。
	Q51トイレ満足度 男性(91.4%)に比べて女性(77.8%)の満足度が低い。	(特に)女性用トイレ関連設備の改善	「トイレの音姫が作動しない」については、本調査結果開示以前にも把握しており、電池交換等の措置を行うことで対応済みである。今後も定期的、動作確認および対応を行う予定である。 トイレの汚染状況については、本アンケート調査からは不具合箇所を具体的に特定できるものではなかった。そのため今後、具体的な状況把握をまず実施し、必要であれば対策(清掃会社への指示・伝達)を講じる。	「トイレの音姫が作動しない」については、電池交換等の措置を行うことで対応済みである。今後も定期的、動作確認および対応を行う予定である。(H30年8月対応済) トイレの汚染状況については、今後必要であれば対策(清掃会社への指示・伝達)を講じる予定。
	Q64-68: 相談に関する事項 ハラスメントや(進路等に基づく)悩みに対する対応の必要性	心身の健康保持の重要性および相談窓口の周知強化	各学年の開始時の4月に実施している教務関係のオリエンテーション時に、学生委員とカウンセラーの双方が、学生に向けて心身の健康保持の重要性や不具合時の対応手段等について周知を行う。実施は平成31年度4月(次年度新学期)になる予定。	各学年の開始時の4月に実施している教務関係のオリエンテーション時に、学生委員とカウンセラーの双方が、学生に向けて心身の健康保持の重要性や不具合時の対応手段等について周知を行う。実施は平成31年度4月(次年度新学期)になる予定。
水産・環境科学総合研究科 (5年一環、博士後期)	大学院生活全般について(施設)	学生への掲示の改善	環東シノ海環境資源研究センターに学生向け掲示板を設置して運用する。	学生用掲示板はないが、全体掲示板の一部を利用して掲示している。
	大学院生活全般について 学生相談体制について	学生支援・相談体制の周知	大学院履修ガイダンスにおいて、経済支援、就職支援について説明するとともに、各種相談窓口についても周知する。	入学時のガイダンスにおいて、奨学金等の経済支援、就職支援について説明する予定である。
医歯薬学総合研究科(博士課程)	生活状況について	経済的支援の充実	奨励金制度の策定を行う	特別研究奨学生の選考に漏れた医系の学生を対象に、奨励金制度の策定を行い、実際に経済支援を行った。
	修学について	英語化の充実	学位審査に関する書類等の英語化を促進する	一部書類及び、その後の審査等について英語化を行った。
医歯薬学総合研究科(博士前期課程)(薬学系)	学生相談体制	各種相談窓口の更なる周知 学生懇談会、学生支援等協議会の開催	学生相談室等の利用について掲示し、学生に周知する。 引き続き、学生懇談会を年1回、学生支援等協議会を年2回、開催する。	学生相談室等の利用について掲示し、学生に周知した。 学生懇談会を8月に開催し、学生からの要望について、実施できるものについては対応を行った。学生支援等協議会を6月、11月に開催し、薬学部教員・カウンセラー・学務担当で成績不良の学生等について情報共有を行った。
	屋外の環境について	静謐な環境の保持、グラウンドの予約方法	学生支援課にサークルの活動について、要望する。	静謐な環境の保持、グラウンドの予約方法について、学生支援課に要望した。全学サークルのあり方について(グラウンドの予約方法を含めた)の検討を今年から行っているとの回答であった。
	キャンパス全般	駐輪場の整理	病院駐車場管理室に駐輪場の整理について、要望する。	病院駐車場管理室に駐輪場の整理について、要望した。患者用の駐車場の整備を行う予定だが、学生の駐輪場の整理を行う予定はないとの回答であった。
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	大学生活全般について(施設)	体育館が利用しにくいという意見に対し、坂本キャンパス体育館を管理する部署と協議し、同じ授業料を支払っている学生が、同じサービス(体育館の利用)を享受できるよう効率的な運用を検討する。	体育館の使用状況・予約状況を誰もが閲覧可能となる掲示等を行う。また、サークル以外が使用できる時間帯を定期的に設ける。 また、留学生や外国人教員のため医歯薬施設整備委員会等と連携してキャンパス中の案内図や道標の英語化を図る。	体育館の使用状況等を所管しているのが、医歯薬学総合研究科事務室となっているため、使用状況等をTMGH事務室から学生むけに常時周知はできていないが、学生自身に体育館の使用、予約方法、対応窓口を周知し、医歯薬学総合研究科事務室の方で対応してもらっている。 道標等の英語化はまだ実施できていないが、留学生にはオリエンテーションでキャンパスツアーを実施して説明している。
	大学生活全般について(施設)	国の文化によるトイレの使用方法が異なることから清潔な環境が保てないという意見に対し、途上国を中心とした多くの留学生、研究者が日本の使用方法が理解できるよう対策を講じる。	トイレの入口から個室までの導線において、トイレの使用方法が明確になるよう案内を行う。	トイレ入口付近及び個室内に使用方法を掲示し対応している。
	大学生活全般について(授業)	担当教官との連絡が取りにくく、提出物のフィードバックが少ないという意見に対し、きめ細やかな指導体制を構築する方策を検討していく。	本学生生活調査や授業評価の結果を、教務WGにフィードバックしきめ細やかな指導を実施するよう意識改革を行う。また積極的にLACSを使用して提出物のフィードバックを行うこととする。	授業評価等の結果を教務WGで議論し、積極的に学生にフィードバックするよう教員に連絡している。